

全国大会 実行委員長インタビュー

14年ぶりの宮崎開催へ

豊かな水が、
豊かな未来を育てる
MIYAZAKI
for a Sustainable Future

ひと・水・自然がつながる
みやざきから。

大会テーマ

水を守り、未来を創る —循環型社会の創造—

2026年10月28日（水）、宮崎観光ホテルで「令和8年度 第22回 全国環境連 全国大会」が開催されます。約14年ぶりの宮崎開催となる本大会。準備が最終段階を迎えた実行委員長の村上和弘さんに、テーマに込めた思いや宮崎の魅力、大会の見どころ、そして業界の未来についてお話を伺いました。

インタビューのポイント

- | | |
|--------|--|
| 開催意義 | 宮崎を楽しみ、組合活動の学びを持ち帰れる大会へ |
| 大会テーマ | 水環境を守る仕事の原点と、資源・エネルギーの循環を見据えた未来 |
| 宮崎の魅力 | 温暖な気候とゆったりした空気。宮崎牛、地鶏、冷や汁、マンゴー、辛麺。青島、鵜戸神宮、神話の地 |
| 見どころ | 環境省・加藤聖氏と、黒木本店会長・高鍋町長の黒木敏之氏による2つの講演。宮崎らしいアトラクションと懇親会 |
| 未来への思い | 少人数でもやり遂げる自信を。業界が誇りを持ち、社会に必要とされ続けるために |



村上 和弘 実行委員長

宮崎県環境整備事業協同組合
全国大会実行委員会

Q 約14年ぶりの宮崎開催です。どんな大会にしたいですか？

まずは、全国から来てくださる皆さんに宮崎を存分に楽しんでもらいたいと思っています。そして組合の一員として大会をしっかりと運営し、参加された方が「何か」を持ち帰っていただける大会にしたい。宮崎の魅力を発信することと、組合活動をより充実させること、この二つを大切にしています。



Q 大会テーマ「水を守り、未来を創る ―循環型社会の創造―」に込めた思いをお聞かせください。

テーマは実行委員会でいくつも案を出し合い、全員で決めました。

汲み取りや浄化槽清掃は、地域の水環境と暮らしを支える私たちの仕事の原点です。その原点を表す言葉として「水を守る」を掲げました。

一方で、人口減少や環境問題など、私たちを取り巻く事業環境は大きく変わりつつあります。水だけでなく、資源やエネルギーの循環にも目を向け、これからの社会に必要とされる仕事であり続けたい。「未来を創る」「循環型社会の創造」という言葉には、そうした意志を込めています。



Q 宮崎県の魅力を教えてください。

宮崎は温暖な気候で、ゆったりとした時間が流れているところです。空港に降り立った瞬間から、リゾートのような空気を感じていただけたと思います。

食では宮崎牛や地鶏、冷や汁、マンゴー、辛麺など、おいしいものがたくさんあります。観光では青島や鶴戸神宮、そして天孫降臨の神話の地として知られる神社など、歴史や文化にふれられる場所も豊富です。

大会当日も、ホテルと打ち合わせを重ね、地元の食材を使った「宮崎らしい」お料理をご用意する予定です。



Q 大会の見どころを教えてください。

講演では、焼酎「百年の孤独」で知られる株式会社黒木本店の会長であり、現在は高鍋町長を務める黒木敏之氏にもご登壇いただきます。企業のトップとしての経営の視点と、行政のトップとしての視点、その両方からお話を伺える貴重な機会です。地域貢献のあり方など、私たちの仕事にとっても多くの学びがあると思います。

また、宮崎の特色を活かしたアトラクションもご用意しています。お食事とあわせて、懇親会では宮崎をまるごと体感していただけたらうれしいです。

講演Ⅰ 13:30～14:30

『廃棄物・資源循環行政の最近の動向について』
加藤 聖 氏（環境省 環境再生・資源循環局 廃棄物適正
処理推進課 課長）

講演Ⅱ 14:40～15:40

『百年の孤独の孤独』
黒木 敏之 氏（株式会社黒木本店 会長／宮崎県高鍋町
長）

大会式典 16:00～17:15

表彰、政府に対する要望決議、大会スローガン・大会
宣言の発表など

懇親会 17:30～19:30

宮崎らしいアトラクション、団旗引き継ぎ、次回開催
担当挨拶など

Q 準備を進めるうえで、ご苦労はありましたか？

宮崎には専門の事務局がなく、14年前の大会を経験したメンバーも少ないため、知識も経験もほぼゼロからのスタートでした。手探りで一つひとつ準備を積み重ねてきました。

ただ、実行委員会のメンバーがそれぞれ役割を分担して動いてくれていて、そのこと自体が組合員にとって大きな経験になっていると感じています。

Q 大会の先に、どんな未来を描いていますか？

参加された皆さんには、宮崎の魅力とともに、組合としてこれから進む方向や学びを持ち帰っていただきたいです。そして宮崎の組合員には、少ない人数でも全国大会をやり遂げたという自信を残したいと思っています。

私たちの仕事は、人々の生活を支える仕事です。業界全体がそのことに誇りを持ち、社会が変化していく中でも、行政や市民の皆さんのニーズに応え続けられる業界であってほしい。そう願っています。



生活を支える仕事に誇りを持ち、
社会に必要とされ続ける業界へ。



約14年ぶりの宮崎で、皆さまのお越しを心よりお待ちしております。

大会概要

大会名	令和8年度 第22回 全国環境連 全国大会
テーマ	水を守り、未来を創る ―循環型社会の創造―
開催日	2026年（令和8年）10月28日（水）
会場	宮崎観光ホテル 〒880-8512 宮崎県宮崎市松山1丁目1-1
日程	講演 13:30～15:40（3F「緋碧耀」） 大会式典 16:00～17:15（2F「紅日向」） 懇親会 17:30～19:30（3F「光耀」）
主催	全国一般廃棄物環境整備協同組合連合会（全国環境連）
担当	宮崎県環境整備事業協同組合
後援	環境省、宮崎県、宮崎県議会、宮崎市、宮崎県市長会、宮崎県町村会、一般社団法人 宮崎県浄化槽協会
協賛	公益財団法人 日本環境整備教育センター、一般社団法人 全国浄化槽団体連合会、全国浄化槽推進市町村協議会
参加予定	全国環境連会員等 約500人

会場へのアクセス

宮崎空港から	タクシー 約20分 宮崎空港連絡バス 約17分「橘通り1丁目」下車、徒歩 約10分 JR 約10分「宮崎駅」下車、タクシー 約5分 JR 約6分「南宮崎駅」下車、タクシー 約5分
車で	宮崎自動車道「宮崎IC」から 約10分

お申込み・お問い合わせ

宮崎県環境整備事業協同組合 全国大会実行委員会
〒881-0005 宮崎県西都市大字三宅2300-3
TEL：0983-43-0426 FAX：0983-43-4103